

研究実施のお知らせ

研究課題名

超高齢者における大腸手術の短期及び長期予後について

研究の対象となる方

2012年4月1日から2023年4月30日までに大田市立病院において、大腸手術を行った90歳以上の方が対象です。

研究の目的

本邦では高齢化が進み、また、2019年には、大腸癌罹患率は総数では一位となっている疾患です。大腸癌の罹患自体、高齢化が一つのリスクファクターとされていますが、高齢者に対する手術適応などに対しては、高齢者では各種の機能低下に加えて、各種基礎疾患などを有することが多く、予備能力の低下からも、治療に対しては、統一した治療方針はないのが現状です。

当院は島根県内でも、高齢化の進む地域であり、高齢者大腸癌患者も多く、超高齢者(90歳以上)に対する手術症例も散見されます。そのために、当院において90歳以上の超高齢者に対して行われた大腸癌を含む大腸手術症例に対し、周術期の特有の問題や、短期及び長期における予後や合併症を明確にすることで、超高齢者に対する至適治療の選択が可能となる可能性があります。

研究の方法

この研究は、既存の臨床情報(診療で得られた情報)を用いる後ろ向き観察(コホート)研究です。

個人情報保護の観点から、対象者は研究専用のID番号で管理され、誰の情報かわからず状態で集約されます。

研究の期間

2022年5月26日～2024年12月31日

研究に用いる情報の種類

- ① 臨床所見(年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報、臨床病期 など)
- ② 血液所見(CBC、白血球分画、肝腎機能、凝固機能、腫瘍マーカー など)
- ③ 病理学的所見、遺伝子情報(K-ras、B-RAF、MSI) など
- ④ 手術(術式、手術時間、出血量、術中循環モニター(体温、血圧、SpO2) など)
- ⑤ 画像情報(CTおよび胸部レントゲン など)
- ⑥ 入院情報(入院日、退院日、看護記録、投薬情報 など)
- ⑦ 治療経過(合併症の有無、抗がん剤治療の有無、再発情報など)

外部への情報の提供

この研究から明らかになった情報については学会発表および論文発表を通して公開する予定です。また、このような国内のデータはこれまで限られていることから、今後、本邦で増えていく超高齢者の大腸疾患の患者を治療するにあたり役立つことが期待されます。なお、外部のデータベースへの登録を希望されない場合は申し出てください。

研究組織

研究代表者：大田市立病院 外科・医長 中山瑤子

お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも、お申し出により研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。ただし、研究実施上、既に個人が特定できない状態での解析の対象となった場合など、除外できない場合があります。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問合せ下さい。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

研究代表者連絡先：

住所：島根県大田市大田町吉永 1428 番地 3

電話：0854-82-0330

大田市立病院 外科・医長 中山瑤子